



東っこ通信 2018

みやき町立三根東小学校
学校だより No.15
平成30年12月11日(火)
校長 築波 真史

学校教育目標

<豊かな心を持ち、自ら学び、進んで行動する児童の育成>
～夢にチャレンジ東っ子～

冬らしい寒さになってきました

12月に入ってしばらくは暖かく、特に4日(火)はみやき町の最高気温が23℃にもなり、9月下旬から10月の気温を示しました。大分などでは25℃を超える夏日を記録したとのニュースを見ながら、いったい今年の冬はどうなるのだろうと思っていましたが、その後数日で気温はどんどん下がり、8日(土)のもちつき・感謝の会の時には朝の気温が約3℃と冬らしい寒さがやってきました。こんなにも気温の変動が大きいと子どもたちはもちろん、我々大人も体調管理に気をつける必要があります。私も先週の終わりから朝校門に立つときの服装を一気に真冬モードにしました。

さて、前回の学校だよりからまだ半月ですが、学校では様々な行事や催しを行いました。一つ一つの経験が子どもたちを身体的に・知的に・精神的に・そして社会的に成長させてくれます。学校での教育活動は授業が中心ではありますが、それぞれ季節毎の行事や全体での取組が貴重な経験となり、我々が子どもたちの成長を感じるのには、授業よりもむしろそういった行事を準備や練習から本番までを経験した子どもたちの姿に対するものも多いのです。小学校は毎日が新しい、貴重な体験の連続です。できるだけ病気やけががなく毎日学校へ登校でき、欠席ゼロの日が一日でも増えることを願っています。

6年生は「夢の教室」で元Jリーガーから生き方について学びました

昔も今も、子どもたちの将来の夢の多くがプロスポーツの選手であることは変わりません。今年の6年生の佐賀新聞に掲載された「ボクの夢、私の夢」でも、将来の夢にプロスポーツ選手だと書いている子どもが8名いました。しかし、一方でその道が大変な努力を必要とする世界であることも事実です。

11月28日(水)には、最近毎年行っているJFA(日本サッカー協会)主催の「夢の教室」を本校で行いました。これはJFAの社会貢献活動のひとつで、サッカーだけでなく様々な競技の現役/OB/OGのスポーツ選手などを「夢先生」として学校へ派遣し、「夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」などをゲームと夢先生の体験談を通じて子どもたちに伝えるイベントで、一昨年は福岡ソフトバンクホークスの千賀投手、昨年は元フェンシングのオリンピック代表の池田めぐみさんに来ていただき、楽しいゲームや自分の体験談を話していただきました。

今年は、東福岡高校から元アビスパ福岡や柏レイソル等で活躍し、日本代表チームへ参加した経験もある元Jリーガーの山下芳輝さんに来ていただき、6年生と一緒に体育館でチームワークを考える楽しいゲームをしたあと、後半は教室で山下さんのこれまでの経験から「夢に向かって努力することの大切さ」をテーマに子どもたちにエールを送っていただきました。子どもたちに夢と努力の大切さを伝えてくれる、貴重な時間となりました。



中学生が朝のあいさつ運動に来てくれました

1学期に行われた本校出身者の中学生が来てくれる朝のあいさつ運動ですが、中学校から「2学期も是非取り組ませたい」との連絡がありました。こちらとしてもきちんと自分から丁寧な挨拶ができる中学生が来てくれることはとてもありがたく、11月27日(火)と30日(金)の2回に分けて来てもらいました。特に30日(金)は十数名の本校卒業生でもある中学生が来てくれ、登校してくる小学生に元気いっぱいの挨拶をしてくれました。立派に成長した中学生の姿に、我々職員も嬉しくなりました。



人権集会を行いました

全国的にいじめに関わる不登校やいじめなど悪質な事案が報道されています。国も対策に乗り出し、平成25年には「いじめ防止対策推進法」が制定され、文部科学省を通じて全国の学校にいじめ問題への対応について通知が来ています。本校においても年1回のいじめに関するアンケートのほかに、毎月児童へアンケートを実施し、できるだけいじめの早期発見に努めるとともに、これまでは「いじめ」とは認知していなかった事例であっても、きちんと聞き取りや調査を行うこととしています。11月30日(金)の人権集会でも、放送委員会の子どもたちが学校で身近におこりそうないじめの事案についての劇を見せてくれ、全校で考えるよい題材となりました。また、各学級で考えた人権やいじめ問題に関する標語を発表し、改めて三根東小はいじめを許さない学校であると確認しました。



もちつきと感謝の会へのご協力ありがとうございました

12月8日(土)は毎年恒例のもちつきと日頃お世話になっている地域の皆様に感謝の気持ちを伝える感謝の会を行いました。午前中のもちつきは例年以上にたくさんの保護者の方が参加してくださいました。今回はお父さんやおじいさんなど、男性の参加も多く、子どもたちへのもちつきの指導やつき上がったもちをちぎってパックに入れる作業など、大変スムーズにできました。できたてのお餅は1年生から4年生に配ったり、午後の感謝の会にお招きしている地域の皆さんへのプレゼントにしたり、5・6年生が親子でおいしくいただいたりしました。



午後の感謝の会は日頃お世話になっている地域の交通指導員の方、青少年サポート隊の方、民生委員・児童委員のみなさん、総合的な学習の時間でお世話になった事業所の方、学校評議員さんなど約30名の皆さんをお招きしました。子どもたちは各学年で練習してきた出し物を披露したり、手作りのプレゼントを渡したりしました。子どもたちも、登下校や校外学習、地域での毎日の暮らしについても、多くの皆さんに支えられていることを改めて考えることができたのではないかと思います。お忙しい中お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

